

経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

- ・港区に住む魅力を発信し、まちの活性化につなげる必要があります。
- ・港区の魅力ある地域資源を広く周知活用しながら、地域、商店、企業等の様々な主体が連携協働して取り組む機会の提供を行い、ビジネスチャンスにつなげることで、地域の活性化を図っていく必要があります。
- ・大阪の集客観光拠点の重点エリアに位置づけられている築港地区において、豊富な観光資源を活かした観光施策と連携して、まちづくりの視点から地域の活性化を図っていく必要があります。

訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり



海と川をつなぐ水辺のにぎわいづくり 他

築港地区を始め、各地域の魅力ある資源をいかして、まちのにぎわいを生み出し、経済の活性化を図る

1 地域資源を活かしたまちの活性化

- ・ 特色やオンリーワンの技術を持つ企業や商店の紹介など区内の魅力ある事業者の紹介によるまちの魅力発信を行います。
- ・ 事業連携によるビジネスチャンスを広げるため、区内外の商工業者同士の交流機会を提供します。
- ・ 地域や事業者等との連携による地域資源を活かした商店街の取り組みを支援します。
- ・ 「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の地域資源をベースにしたオリジナルな商品「みなトクモン」を創出する取り組みを積極的に広報・周知することによりまちの魅力を発信し、区民の「わがまち」への愛着を高めます。
- ・ 地域の魅力ある資源を活かした商品づくりに向けて、事業者へ港区名物をつくる「みなトクモンプロジェクト」への参画を働きかけるとともに、地域や商店街とも連携しながら、「みなトクモン」の販売機会を拡充し認知度の向上を図り、「みなトクモン」をツールとしてまちの活性化につなげます。

1) 商工業者のビジネス機会の提供 【予算額 ー 千円】

企業や商店などの事業者に対してビジネス支援情報を提供するとともに、事業者同士の出会いの場の提供やマッチングをサポートすることにより、ビジネス機会の創出につながる支援を行う。

目 標 ビジネス機会の創出につながる連携件数：3件以上

2) 港区の魅力発掘・創出 【予算額 1, 371千円】

「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、開発された商品等を港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。

また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。

目 標 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：50%以上

「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品）

3) 地域や事業者等と連携した商店街による取り組みの支援 【予算額 ー 千円】

区役所が持つネットワークや情報発信力を活用して、地域や事業者等との連携による地域資源を活かした商店街の取組を支援する。

目 標 地域や事業者等と連携した商店街による取組の件数：3件

2 まちの魅力の発信

- ・交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信します。
- ・特色やオンリーワンの技術を持つ企業や商店の紹介など区内の魅力ある事業者の紹介によるまちの魅力発信を行います。
- ・「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の地域資源をベースにしたオリジナルな商品「みなトクモン」を創出する取組みを積極的に広報・周知することによりまちの魅力を発信し、区民の「わがまち」への愛着を高めます。

1) 港区に住む魅力の発信 【予算額 一 千円】

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信する。

目 標 マスコミ等による情報発信：4回

2) 港区の魅力発掘・創出 【予算額 1, 3 7 1 千円】

「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、開発された商品等を港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。

また、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。

目 標 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：50%以上

「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品）

3 築港地区のにぎわいづくり

・民間活力によって豊富な観光資源を活性化するなど、観光施策と連携して、まちづくりの視点をもってソフト・ハード両面の環境整備を進め、エリアイメージの向上とブランド化に取り組むことにより、にぎわいの創出や子育て世代の居住促進を図り、地域の活性化をめざします。

1) 「築港・天保山地区まちづくり計画」策定に向けた検討調査

【予算額 5,326千円】《新規》

副市長をリーダーとする「築港・天保山まちづくり計画」策定プロジェクト会議（庁内検討体制）において、集客観光ゾーンと住居生活エリア、港湾物流エリアが併存するといった特性を持つ築港・天保山エリアにおける現状と課題について関係各部局が共有し、戦略的な観光施策の連携、港湾計画や都市計画、民間活力の活用などの多角的な観点を踏まえた調査検討を行い、将来的なまちづくりの方針を決定する。方針を踏まえて民間活力を活用した官民協働による中長期的な「築港・天保山まちづくり計画」を29年度末までに策定する。

目 標 広域と基礎行政の連携により、「ベイエリアの魅力あふれる訪れたいまち・住みたいまちの実現」「水都大阪の玄関口として世界にアピールする集客観光拠点の形成」をめざす、まちづくりの方針を作成する。

2) 海と川をつなぐ水辺のにぎわいづくり 【予算額 1,000千円】《新規》

大阪の海の玄関口である大阪港、築港地区の歴史的価値・特性を再発見するとともに、水資源でつながった地域の歴史・文化・景観資源を生かした観光集客とまちづくりを市民協働・官民協働で進めることを目的として、水都大阪としての魅力発信となる水辺のにぎわいイベントと、大阪の発展を港と川という水のルートでたどる舟運の社会実験を実施する。

目 標 イベント来訪者への満足度調査結果：〈70%以上〉
イベント事業者の継続実施の意向調査結果：〈60%以上〉



4 まちづくりに向けた行政資産等の活用

- ・これからのまちづくりの方向性を踏まえ、弁天町駅前土地区画整理記念事業用地や市岡商業高校跡地、弁天埠頭、JR臨港（貨物）線跡地、また、中央体育館や大阪プールを擁する八幡屋公園など、区内の遊休地や資産の活用について、関係局と連携して活性化策の検討を進めます。

1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討 【予算額 一 千円】

現在の区民センターや老人福祉センター、子ども・子育てプラザを廃止して、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が活動・交流できる「（仮称）区画整理記念・交流会館」として再構築し、まちづくりの資産として活用する。本施設の整備（平成33年度完成予定）により、コミュニティをさらに活性化し、将来にわたって活力とうるおいのあるまちづくりや、共同事業者である大阪みなと中央病院と連携して地域医療・災害時医療の拠点機能の形成をめざす。

また、この事業に対する区民の認知度を高めるため、事業に関する広報を継続して行う。

目 標 （仮称）区画整理記念・交流会館の建設に向けた事業手法の検討等の進捗に合わせ、基本構想の内容をハード面に反映させる。

2) 八幡屋公園の利活用 【予算額 一 千円】

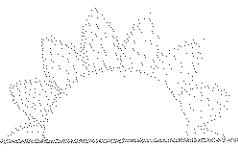
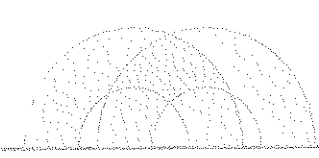
国際レベルの施設である中央体育館や大阪プールを擁し、広く市民のスポーツや健康づくりに貢献する八幡屋公園について、広くPRすることにより利用を促進するとともに、まちづくりの資産として活用する。

目 標 八幡屋公園で開催されるイベント・行事等の発信：3回以上
八幡屋公園でのイベント等の参加者：300人以上

3) 市岡商業高校跡地、弁天埠頭などの有効活用 【予算額 一 千円】

市岡商業高校跡地、弁天埠頭などのまちの資源、資産について、地域の声を踏まえながら、まちづくりに有効な活用策を検討する。

目 標 関係局との調整を図りながら、まちづくりの観点から有効な活用策について、地域の声を踏まえて方向性を決定する。



経営課題6 区民意見を反映した区政運営

- ・区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開するとともに、その取組や成果についての情報を積極的に発信していく必要があります。
- ・多様な区民の意見・ニーズを的確に把握する必要があります。
- ・安全・安心など区民の日常生活に関する相談や要望を総合的に受け付け、解決に導くための機能を備える総合拠点として、区民が利用しやすい便利で親切的な区役所づくりを進める必要があります。
- ・施策・事業についての成果を区民が評価し、施策・事業の改善や新たな展開につなげていく必要があります。
- ・港区が住みやすいまちであると感じられる魅力ある情報の発信など、暮らしに必要な情報を発信していく必要があります。

1 多様な区民の意見・ニーズの的確な把握

- ・区政運営について、区民モニターアンケートや「市民の声」などを通じて、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映します。
- ・区民の日常生活の安全・安心を担う身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな相談や要望を受け付け、各局と連携し適切に対応します。

1) 区の広聴関係事業 【予算額 126千円】

「区民モニターアンケート」「市民の声」「み・な・と改善箱」、「みなりんリンプロジェクト」、「twitter」を通年実施

区政・市政に関する区民の意見・要望等を適切かつ迅速に処理を行い、説明責任を果たすとともに、ご意見を区政・市政に反映させることで、市民参画、市民と協働した市民本位の市政を実現する。

目 標 区民からの意見に対し区が処理した対応について、本人の同意を得て区の広報紙やホームページ、掲示板などで公表した件数：全件

2) 区役所の相談機能の強化 【予算額 一 千円】

日常生活に関する様々な相談や要望を来庁・郵便、電話やインターネットなどにより受け付け、関係局と連携して適切に対応するとともに、状況を相談者等にフィードバックするなど、区における市政の総合窓口としての役割を果たす。

目 標 受け付けた相談や要望及び投稿に適切に対応した件数：全件

2 区政の参画と協働による区政運営

- ・区政運営について、区政会議や区民モニターアンケートなどを通じて、計画段階から多様な区民との対話や協働により進めるとともに、より多くの区民からの評価をいただき区政に反映させます。
- ・区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの企画・計画段階から区民の意見や要望を把握し反映させます。
- ・教育行政連絡会議や区教育会議（区政会議・こども青少年部会）を活用して、学校・地域・保護者の多様なニーズを汲み取った教育施策を推進します。

1) 区政会議の運営 【予算額 709千円】

地域活動協議会の代表者や公募の区民等による「区政会議」において、区の施策や事業についての意見や評価をいただく。

目 標 区政会議での意見や評価を施策・事業に反映した件数：10件

2) 分権型教育行政の推進、教育課題解決への取り組み

【予算額 76千円】（再掲）

分権型教育行政を推進し、保護者や地域住民の学校教育への参加を促進しその意向を学校運営に反映して、より良い学校教育を推進するとともに、保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取り、学校だけでは解決できない横断的な課題への対応について学校を支援する。

目 標 保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った新規の取組件数：2件

3 区政情報の積極的な発信

- ・多様な区民の意見やニーズを踏まえた施策を実施し、その取組や成果等の区政運営に関する情報が区民全体に届けられるようきめ細やかな情報発信を行います。

1) 施策・事業の積極的発信 【予算額 18,374千円】

地域の実情や特性に応じた施策や事業を各部局と連携して実施し、その取組や成果を区の広報紙やホームページなどで積極的に発信するとともに、区長自らツイッターなどで積極的に発信する。

目 標 「港区の施策・事業に関する区長からのメッセージやお知らせを読んだことがある」と答えた区民の割合：80%

4 区民が利用しやすく、信頼される区役所づくり

- ・区民が快適で利用しやすい区役所となるよう、庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、来庁者の声を適切に把握し改善につなげます。
- ・区役所業務の運営について、業務プロセスの改善・事務の集約化などにより、効果的・効率的なものとしていくとともに、区民に情報発信していきます。

1) 暮らしに必要な情報の発信 【予算額 18,374千円】

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力や暮らしに必要な情報について、マスコミ等への情報提供を活用し積極的に発信する。

目 標 マスコミ等による記事掲載等の情報発信回数：5回

2) 窓口業務におけるサービスの向上 【予算額 ー 千円】

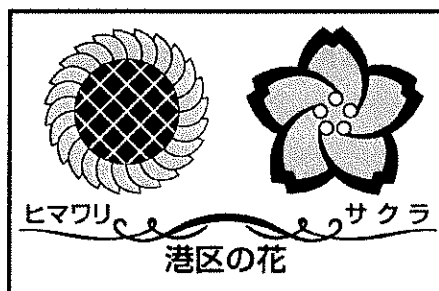
区民が快適で利用しやすい区役所となるよう、庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、職員による提案やみなと改善箱等に寄せられた区民の意見を踏まえ、区役所サービスの向上に向けた取組を推進する。

目 標 区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合：平成29年度までに 80%以上

3) 区民が納得できる効果的・効率的な業務運営 【予算額 ー 千円】

区役所業務の運営について、業務プロセスの改善・事務の集約化などにより、効果的・効率的なものとしていくとともに、区民に情報発信する。

目 標 効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に即して区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合：29年度までに60%以上



【区運営方針と区運営方針概要版に関するお問い合わせ】

大阪市港区役所総務課（区政統括グループ）

所在地：大阪市港区市岡1-15-25

電話：06-6576-9885

FAX：06-6572-9511

ホームページ：<http://www.city.osaka.lg.jp/minato/>

ツイッター：<http://twitter.com/minatokuyakusyo>

フェイスブック：<http://www.facebook.com/minatokuyakusyo>